

ティーチング・ポートフォリオ（教育業績ファイル）

教員氏名	宮崎 克己
主な担当科目	美術史I, 美術史II, 博物館情報メディア論, 博物館資料論, 博物館経営論, 博物館実習 I, 博物館実習II, 博物館概論, 博物館展示論
シラバス	ここをクリック（本学WEBシラバス・科目検索ページにリンクします）
2021年の教育目標・授業に臨む姿勢	新型コロナの中でできる限り学生とのコミュニケーションを確保することをめざした。授業のほかにTeams Forms ポータルサイトを使い、資料配付、欠席者のフォロー、毎回のミニットペーパー提出とそれへのレスポンスなどにより、双方向性を確保しようとした。毎回使うパワーポイントのスライドに質問やクイズを組み入れ、学生たちに考えることを促す工夫をした。
2021年の教育に関する自己評価	10人ほどの少人数のクラスではじゅうぶん学生との実質的な対話が可能だったが、マイクを使う50人以上のクラスではかなり困難があった。以前は、教室の中ほど、学生たちの間にはいって質問などをするスタイルだったが、それができないため苦労したが、レポートやミニットペーパーへのレスポンスという形で、双方向性を確保し、状況の中で可能な範囲の努力をした。
2021年のFD活動に関する自己評価	FD委員会委員として活動した。教養科目の学内組織主査としてFDを取りまとめた。資格の学内組織で行ったFD議事録を書いた。
授業改善のために取り入れた研修内容	クラス内ディスカッションを実施するため、FDで紹介されたブレイクアウトルームを使ってみた。ただ、学生も宮崎も不慣れのため、からなずしも機能しなかった。留学生に対してはとりわけ注意深くていねいに指導するよう心掛けた。

2021年度(前期)「学生による授業評価アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード：2340 教員名：宮崎 克己

1) 評価結果に対する所見

新型コロナ禍の中で、学生にとってとても不自由・不満足な時期となってしまっていると思います。教える側としても同じで、私の科目では、少人数のクラスでは満足度が高いのですが、大人数のクラスではやや難しかったようです。もともと授業中に学生に多くの質問に答えてもらうスタイルだったのがそれもできず、私の方で一方的に話している形になって、双方向性が阻害されてしまいました。また Teams, Forms, ポータルサイトを使い、出席確認、ミニットペーパー提出、レポート提出をしてもらうことになり、慣れない学生もいたと思います。

2) 要望への対応・改善方策

Teams, Forms, ポータルサイトは全学生が使うべきものですが、私の授業でも1, 2回目に少し練習をすることにします。

大人数のクラスでスライドの進行が速すぎると感じる学生がいましたが、配付資料の穴埋め個所に来たら必ずスライドでその部分を赤字にしています。学生がスライドから目を離さないようもっと工夫したいと思います。またそれでも埋めそこなったら、TAに聞いてもらうようにしていますので、その活用も繰り返しお願いすることになります。また重要スライドについては pdf をつくってありますので、その活用も促したいと思います。

3) 今後の課題

美術史については、将来的にオンデマンドとの併用もありうると考えます。しかしその際に、学生との間の双方向性、学生へのフィードバックを確保するのが意外に難しく、やり方によっては教員にとってむしろ大幅負担増になりかねないと予想します。ともあれ少しずつ適切な動画をつくっていくことを考えてみたいです。

以 上

2021年度(後期・通年)「学生による授業評価アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード：2340 教員名：宮崎 克己

1) 評価結果に対する所見

概して少人数の授業での満足度が高く、大人数のほうが低いと受け止めます。今回は紙媒体ではなくオンラインでの授業評価だったので、そもそも記入してくれた学生がかなり少なかったと思います。

同じ授業内容で午前中と昼過ぎの評価が異なってくる理由は、一概には言えませんが、こちらでも少し意識して対応したいと思います。

2) 要望への対応・改善方策

パワーポイントの文字が小さく思える人は、ぜひ前のほうに座ってください。

配付資料の穴埋めが間に合わないときには、TAさんのところに穴の埋まったコピーがあるのでそれを見てください。

スライド切り替えの速度については、私もよく注意します。早すぎる時、遠慮なくその場で手を挙げて言ってくれれば、こちらも助かります。

特に留学生で日本語がついて行けない人は、遠慮なく、私かTAにたずねてください。

3) 今後の課題

動画やpdfをOneDriveに数本あげてありますが、予習・復習のためもう少し充実できるといいと思っています。

以 上